

師範会委員会の報告会議事録

作成:永盛

日時 平成26年9月13(土) 13時～
場所 (公社)日本空手協会 総本部 会議室
参加者 大津 直之介 川上 弘紀 永盛 茂 中島 正史

報告内容 1) 各大会(一般 少年)の反省

- ・会議に先立ち宮城県本部より少年全国大会のお礼のあいさつがありました。(H15は静岡県です)
- ・首席師範よりこれからも35の形の緩急は変えないでいく。(形試合で緩急を間違える選手がいる)師範会でも講習会を行います
- ・又、県本部主催の段審査について2回は総本部より立ち会う。その時を利用して形、組手の講習会を実施行う。(来年より指導者講習会や審判員強化する)
- ・大阪先生より指定型と選定型の緩急の間違ってる挙動部位の説明がありました。(平安初段～岩鶴)
- ・その他の意見として型試合で息吹をする選手が多い。副審が旗を素早く揚げない。監督がタオルを首に掛けて歩いている大変醜い。審判の集合時間が長い。審判員打ち合わせを欠席の為に注意事項を熟知していない。等々有りました

2) 世界大会の件

- ・審判員 国内から60名(A級のみ) 外国から45名(AB級)氏名はまだ決まっていません。
1日目(17日)は少年大会 8コート
2日目(18日)は一般予選 8コート
3日目(19日)は一般本戦 4コート

3) 総本部指導員の資格の件

- ・指導員の資格は一般と別枠にする。総本部一任する。

4) 称号の件

- ・錬士については50歳以上6段位でしたが5段位からになりました。

5) 段 資格審査規約の件

- ・弐段以上で高齢者(60歳以上)の男子と女子(年齢制限無し)は自由組手と基本一本組のどちらかを自由選択制にしました。 H14/7/1付け

(稽古会) 今回は報告会の後 臨時理事会があり中止。